

# 記載例

書類補正等により申請書に修正があった場合は申請書の欄外に「○字削除、○字追加」と記載し、訂正者の署名を明記する。

訂正者  
代理人 野本花子（署名）  
五字削除  
三字追加

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

令和 4 年 9 月 15 日

埼玉県知事

譲受人 氏名 大岡 一男

譲渡人 氏名 唐子 太郎

下記のとおり転用のため農地（採草放牧地）の権利を設定（移転）したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

## 記

1 当事者の住所等	当事者の別	氏名	住所				連絡先 (平日、日中に連絡が取れる電話番号)						
	譲受人	大岡 一男	東松山市大字大谷〇〇〇〇番地				090-0000-0000						
	譲渡人	唐子 太郎	東松山市大字下唐子〇〇〇番地				0493-99-9999						
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地目		面積	所有権以外の使用収益権が設定されている場合		市街化区域、市街化調整区域、その他の区域の別					
			登記簿	現況		権利の種類	権利者の氏名又は名称						
	東松山市 大字高坂字栗町	〇〇〇-〇	畑	畑	300 m <sup>2</sup>	賃借権	松山 歩		市街化調整区域				
	以下余白												
計 300 m <sup>2</sup> (田 m <sup>2</sup> 畑 300 m <sup>2</sup> 採草放牧地 m <sup>2</sup> )													
3 転用計画	(1)転用の目的	自己用住宅		(2) 権利を設定し又は移転しようとする理由の詳細 別紙理由書のとおり									
	(3)事業の操業期間又は施設の利用期間	令和 4 年 1 1 月 1 日から 永久 年間				畑300m <sup>2</sup> 、雑種地100m <sup>2</sup> に自己用住宅を建築する場合は、「土地造成」には400m <sup>2</sup> と記載。							
	(4)転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	第1期 (着工 R4年11月1日 から R5年3月31日まで)				第2期 (着工 年 月 日 から 年 月 日まで)				合計		
			名称	棟数	建築面積	所要面積	名称	棟数	建築面積	所要面積	棟数	建築面積	所要面積
		土地造成				400 m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>			400 m <sup>2</sup>
		建築物	住宅	1	98.25 m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>		1	98.25 m <sup>2</sup>	
小計			1	98.25	400					1	98.25	400	
工作物													
小計													
計		1	98.25	400					1	98.25	400		
4 権利を設定し又は移転しようとする契約の内容	権利の種類	権利の設定、移転の別			権利の設定、移転の時期			権利の存続期間		その他			
	所有権	設定・移転			許可日			許可日から永久					
5 資金調達についての計画	別紙のとおり												
6 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜等の被害防除施設の概要	・雨水は敷地内自然浸透、汚水は合併浄化槽処理後に道路側溝へ放流する。 ・土地造成は盛土工事を行い、東側農地より30cm高くなるが、コンクリート擁壁を設置し、土砂、雨水の流出を防止する。(隣地所有者には説明し了承済み) ○万一被害が生じた場合は、責任を持って対処いたします。												
7 その他参考となるべき事項	開発許可同時申請中 (都市計画法第34条12号に該当)												